2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校

ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース

音楽基礎B4

対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	渡邉 具義			実務 経験	有	職種	音楽家				

授業概要

ポートフォリオ制作に向け、各個人が必要とする能力を習得する。 作編曲・ミックス・音作りなど、多方面からのアプローチにより、楽曲のクオリティー向上を目指す。

到達日標

各自が目指すクリエイター像により高いレベルで近づく。 しっかりした裏付けに基づく知識と技術を身につけ、より高レベルなポートフォリオの作成に反映させる。

授業方法

主に生楽器を扱いボイシング手法等を学ぶアナログ班と、DTMベースでアレンジを進めるデジタル班に分かれる。 講義等は基本的にその班ごとに行い、演習でさらに細かく個別指導を行うものとする。班の行き来は一定の条件を満たしているならば、可能とする。オプションとして後期には同じ講義内容をもう一度繰り返すので、自分に合う活用法で利用するものとする。 受講生は1週間のうちに添削用の楽曲を準備、授業ではその楽曲の改善指導を行うものとする。

成績評価方法

試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 成果発表 平常点

10% 積極的な姿勢

履修上の注意

指導に、より客観性を持たせるため二人の講師は極力全員の進行状況を把握するよう努める。 弦・管などのセクションレコーディングは♀10月を予定。受講生には自発的に質問・意見を発言する自発性が望まれる。受講生本人が進め方を決める授業なので、躓くたびに自らの力で打開策を見つける必要がある。もちろん教員はその手助けを行う。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。

教科書教材

毎回授業にて資料配布を行う

参考書・参考資料等は授業中に指示をする

回数	授業計画
第1回	ストリングスセクションにおける5パートアレンジを習得する
第2回	ブラスセクションにおける5パートアレンジを習得する
第3回	管弦における5パートアレンジを習得する
第4回	ストリングスセクションにおける6パートアレンジを習得する
第5回	ブラスセクションにおける6パートアレンジを習得する
第6回	管弦における6パートアレンジを習得する

2021年度 シラパス 日本工学院専門学校

2021年度 日本工学院専門学校					
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース					
音楽基礎B4					
第7回	コードスケールの復習とその仕組みを理解する				
第8回	コードスケールの種類と各対応コードを把握しヴォイシングを理解する				
第9回	実際にコードスケールを使用した場合のサウンドを分析することにより理解を深める				
第10回	対位法とは何かを理解する				
第11回	トラディショナルな音楽での対位法を分析する				
第12回	ポピュラー音楽での対位法の効果的な利用方法を学ぶ				
第13回	Voicing 対位法を使用してアディショナルアレンジを施す作品を制作				
第14回	制作した作品の最終チェックを行う				
第15回	合同卒業展への参加 作品視聴をできるように手配をする				